

# 福祉サービス第三者評価結果

事業所名	社会福祉法人 別府永生会 永生会母子ホーム
------	--------------------------

## 福祉サービス第三者評価結果

### ①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

### ②第三者評価実施期日

平成28年11月21日・22日

### ③事業者情報

名称：社会福祉法人 別府永生会 永生会母子ホーム	種別：母子生活支援施設
代表者氏名：理事長 永見愛治	定員：20世帯
所在地：大分県別府市野口中町14番26号 TEL：0977（26）2355	

### ④総評

#### ◇評価の高い点

- 毎年4月開催の「母の会」において、母親には施設・設備や具体的な支援について、事業計画から抜粋をして施設長から周知徹底している。子どもには、「子ども会」の場において必要な部分をわかりやすく説明を行っている。
- 施設長は毎年4月の職員会議（事業計画説明）の場において、経営・管理に関する方針や重点項目の説明時に、自らの役割と責任を職員に対して表明している。
- いかなる場合の災害を想定し、母親と子ども及び職員の安否確認や最終集合場所を地域のふれあいセンターと決めており、その情報について利用者、職員に周知している。特に、出入口に設置している全家族の入室退出ボードはコンパクトで取り外しが出来る仕様に設計し、災害発生時持ち出し安否確認の初動で使用するなど利用者安全確認のための工夫や取組を行っている。
- 施設長や職員一人一人が人権に配慮した支援を行うため、施設内外の研修に参加して、人権感覚を磨くことに取り組んでおり、施設全体の質の向上を図っている。その結果として、母親と子どもの意向を尊重し、主体性人権に配慮した支援が多種多様に行われている。
- 施設が日常生活支援の生活の場として、母親の思い、子どもの思いをよく理解をし尊重して、時間をかけて繰り返し、根気よく支援を全職員が各親子の情報を共有化して取り組んでいる。

#### ◇改善を求められる点

- 中・長期的なビジョンを明確にした計画については、当該施設についての経営課題や問題点を明確にし、解決・改善に向けた目標数値を設定し、計画的に取り組むことを期待する。
- 総合的な人事管理については、法人・施設の理念と基本方針を踏まえた「期待される職員像等」を明確化し、職員自らが能力開発に取り組める環境づくりについて一体的に運営することを期待する。
- ヒヤリハット事例には支援を見直して高める貴重な意見が含まれることもあるので、対応策の集約したものを標準化して、未然防止に反映されることを期待する。
- 母親と子どもが安定した生活が継続できるよう、退所後の支援についても幅広い地域の関係機関と連携を図りながら、適切な支援に努めることを期待する。
- 人材の質の更なる向上を図るために、職員の教育・研修について専門研修以外にも幅広い科目についても検討をして、中長期的な研修計画を策定することを期待する。

#### ⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

- 今回、二回目の第三者評価受審になりますが、この3年間自己評価を行う中で取り組んだことは、C評価を無くすよう努力して来ました。結果、最低ラインはクリアできたのではないかと考えています。今後は、改善すべき点にもある細部な部分に対し、職員全員で検討と計画ができるよう努力します。  
そして、より良い施設運営を心がけ実践していきたいと思えます。

#### ⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）